様式３(2015.06改)

作成日　平成 27　年　9 月　21 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376500357
事業所名	グループホーム輝楽苑

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	毎週、抹茶を点てに来てくれる地域の人を利用者は、饅頭を作り来訪を楽しみにしている。散歩は清掃活動の一環としてゴミ拾いも行っている。自治会の回覧板で介護相談受け入れ可能を伝えたり、今年度から認知症カフェを開催してその中で、認知症サポーター養成講座も行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	年6回開催している。会議は往診や食事、防災訓練、認知症カフェについてなど様々な質問があり、職員は丁寧に説明している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	今年度は認知症カフェ開催や共用デイサービス開設にあたり、役所に出向いて、担当者に相談や助言をもらっている。また市主催の研修や講習に積極的に参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	職員は家族と良く連絡を取り、情報は共有している。要望など直接言って貰えるこが多く改善に努めている。毎月ホーム便り、年4回法人全体の便りを家族に送付して、日頃の生活ぶりを伝えている。家族交流会は、日常生活を撮ったDVDを観て会食している。職員と家族また、家族同士の交流にもなっている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１.外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２.外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎				